

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

2022年10月28日

各位

浮間地区の事業用地購入について

- ・ 浮間事業所の用地拡大に向け、隣接地の購入契約を締結
- ・ 製薬機能の強化による RED SHIFT の推進とともに、社会と企業の持続可能な発展に向けた環境対策を推進

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：奥田 修）（以下、中外製薬）は、富士アミドケミカル株式会社（本社：東京、代表取締役社長：奥中 義明）（以下、富士アミドケミカル）が東京都北区に所有する事業用地を新たに購入することとし、本日付で富士アミドケミカルと不動産売買契約を締結しましたのでお知らせいたします。当該事業用地は、中外製薬浮間事業所の西側の隣接地です。

浮間事業所は、医薬品の製法研究に従事する製薬機能と、生産子会社である中外製薬工業の浮間工場を有しています。新たに取得する用地は、製薬機能の強化に充てられる予定です。また、用地の拡大により、浮間事業所全体の環境対策のよりスムーズな展開も期待されます。建物・設備のリニューアルやノンフロン化、省エネルギー化を通じ、中期環境目標 2030 に掲げるフロン類ゼロや CO₂ 排出量・エネルギー消費量削減を進めていきます。

代表取締役社長 CEO の奥田 修は「今回の用地取得は、成長戦略 TOP I 2030 のキードライバーである RED SHIFT* の一環となるものです。創薬研究で見いだされた新薬候補物質を臨床開発に進めるには、医薬品としての製法の速やかな確立が極めて重要です。製薬機能を強化し、臨床開発を早期に開始できる基盤を強化することで、患者さんに革新的な医薬品を一日も早くお届けすることを目指します」と述べるとともに、「あわせて、浮間事業所の環境対策のスピードアップも目指します。中期環境目標 2030 で掲げる高い目標の達成には、生産・研究機能における取り組みが重要です。社会と企業の持続可能な発展に向け、環境負荷の低減に努めていきます」と語っています。

*RED SHIFT：RED は Research（研究）と Early Development（早期開発）の総称。研究、早期臨床開発、製薬機能のうち早期開発にかかわる部分を含めた RED 機能に経営資源を集中させ、投資を拡大することにより、価値創造の源泉である創薬から PoC 取得までのトランスレーショナルリサーチ力を強化し、R&D アウトプットの向上を図る。

購入資産の内容

所在地	東京都北区浮間 5-8-18
土地面積	14,107.12 m ²



※電子地形図 25000 (国土地理院) を加工して作成

相手先の概要

会社名	富士アミドケミカル株式会社
住所	東京都北区浮間 5-8-18
代表者	代表取締役社長 奥中義明
設立	昭和 47 年 6 月 17 日
資本金	30 百万円
年商	758 百万円 (2022 年 3 月期)

今後の予定

物件引渡日	2025 年 9 月 (予定)
-------	-----------------

以上